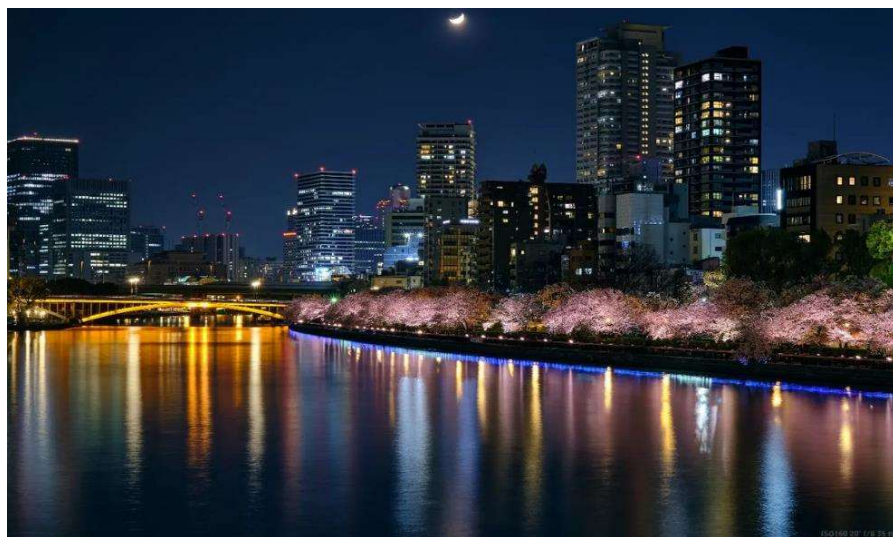


水都大阪の取組みについて

～ 「持続的な成長」をめざして ～



2022年度水都大阪フォトコンテスト春優秀賞

2023年1月
水都大阪コンソーシアム (SOC)

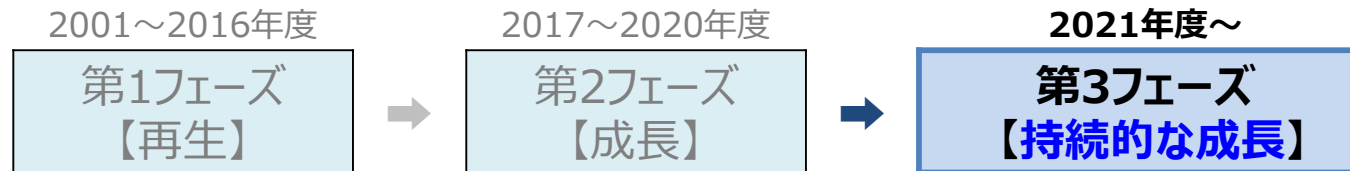
水都大阪ビジョン（第12回水と光のまちづくり推進会議にて報告済）

■ 水都大阪のめざすもの（水都大阪ビジョン）

世界に類をみない第一級の水都の創造とともに、住まう人・携わる人・訪れる人を笑顔に

- 歴史と文化に培われた水都大阪を次世代につなぐ
- 世界の多くの人々が水都といえば大阪を思い起こす魅力あるにぎわい空間の創出
- 安全・安心で環境と共生する持続可能な水都大阪の確立

■ これまでの歩み



■ 水都大阪がめざすべき成長目標（概ね2025年度までを目途）

～ 新型コロナの影響による水辺のにぎわいの落ち込みを踏まえて ～

規制緩和の積極的活用とともに、エリア毎の特色を活かした魅力づくりによって、
水の回廊全体のさらなる活性化を推進する

交通の利便性向上や、安全・安心で環境と共生する「持続可能な水都大阪」の実現などによって、
水辺におけるライフスタイルの定着をめざす

水の回廊と今後の開発や整備が期待されるベイエリアや淀川をつなぐことで、
水都大阪の広がりを図る

『水都大阪ビジョン＜アクションプラン＞』より

■ 取組み方針

～ コロナ禍に対応しつつ、万博に向けて、にぎわい・舟運の次なる成長をねらう ～

- ① 水辺におけるライフスタイルの提案や体験による、水都大阪のファンづくり
(四季を通じた「水都大阪ウィーク」の開催など)
- ② 歴史・文化に培われた水都大阪のブランディングをさらに強化
(観光や教育に資するコンテンツの磨き上げ)
- ③ 万博を見据え、さらにポスト2025をにらんだ水都の将来像の検討
(スマート水都の実現に向けた試行、ベイエリアや淀川との連携)

①水辺におけるライフスタイルの提案や体験による、水都大阪のファンづくり

●水辺のにぎわいや、船が行き交う風景を四季を通じて創出

・春の水都大阪ウイーク「水の都のお花見絵巻」「Sound of Rose Garden」(2022年3~5月)

八軒家浜遊歩道の淀川絵巻、南天満公園水辺のさくら回廊 【約6,000名来場】

大川さくらクルーズ「小学生無料乗船企画」の支援 【約15,000名乗船】

サウンドオブローズガーデン 【約7,600名来場、500名乗船】 ※万博PRブースを併設



南天満公園さくら回廊



大川さくらクルーズ



サウンドオブローズガーデン

・夏の水都大阪ウイーク「涼み船2022」(7~8月)

水上の風鈴めぐり(天満橋・田蓑橋・本町橋・道頓堀橋)

プラごみクルーズ(SDGsの取組みの一環として、プラごみから生成された燃料で船を動かす取り組み)

涼しい夕暮れの音楽パフォーマンス船



風鈴めぐり



プラごみクルーズ



音楽パフォーマンス船

2022年度の取組み（2）－取組み方針と主な事業－

●水辺のにぎわいや、船が行き交う風景を四季を通じて創出（続き）

・秋の水都大阪ウィーク「なにわの水辺百景」（11月） 【約1,100人来場】

なにわの水辺百景クルーズ、浪花百景ARスタンプラリー 【233名乗船】

川でぷかぷかまったり足湯

水辺のβ劇場

・月例イベントの試行（11・12月）

舟運の定期的な賑わい創出のため、天満橋付近での水上ミニ花火



・冬の水都大阪ウィーク「はちけんや くつろぎnight」（12月） ※光のルネサンス・水と光のワンダーナイトin中之島と連携

天神橋らせんスロープのライトアップ（11月～1月）

はちけんや くつろぎnight 【約500名来場、※雨天日あり】

クリスマス船上ライブ



2022年度の取組み（3）－取組み方針と主な事業－

●水都大阪のシンボル空間創出・活用のための調査研究

- ・東横堀川：沿川フィールド調査（6月）、水上キャンプ社会実験（10月）、地先利用実験
- ・水辺を語る会（第1回：瀬戸内芸術祭）（6月）、（第2回：ミズベリング）（10月）

②歴史・文化に培われた水都大阪のブランディングをさらに強化

【SNS実績：534回発信、約14000名フォロー、水都に関するTV等マスコミ掲出数：15件】

- ・外国人留学生エキスポ出展（マイドーム大阪）（7月）
- ・ツーリズムエキスポジャパン出展（東京ビッグサイト）（9月）※大阪観光局等と合同出展
- ・水都大阪アカデミアの開催（11月）
- ・水都大阪の教科書制作

③万博を見据え、さらにポスト2025をにらんだ水都の将来像の検討

- ・スマート水都勉強会の開催と社会実験の実施
- ・淀川舟運活性化協議会への参画等淀川やバイエリアとの連携



水上キャンプ社会実験



水辺を語る会



外国人留学生エキスポ



ツーリズムエキスポジャパン

水都の教科書



誰かに話したくなる
行ってみたいくなる

水都大阪の教科書（イメージ）

2023年度の取組み – 当面の課題と来年度事業の方向性 –

■ 当面の課題

- ～2025年大阪・関西万博の開催を前に、にぎわい・舟運の復活は道半ば～
- 万博に向け、増加が見込まれるインバウンドや国内利用客に対し、観光船の定期的な運航の拡充など、**十分な乗船機会を提供**すること
 - **シビックプライドの醸成**などを通じて、より多くの方々により深く「**水都大阪**」を浸透・定着させること
 - SDGs やウィズコロナなど**社会情勢**を踏まえた**新たな取組みを拡大**すること

■ 来年度事業の方向性

- ～万博インパクトを活用し、水辺のにぎわい創出や舟運の活性化に取り組む～
- 万博を契機に、新たな船着場の活用等による乗船機会の創出
(観光船の定期的な運航の拡充・観光客ニーズに沿ったクルーズ商品開発の支援など)
 - 水都大阪のファンづくりとブランディングのさらなる強化
(四季を通じた「水都大阪ウィーク」の開催、観光・教育に資するコンテンツの磨き上げなど)
 - 万博、さらにその先を見据えた持続可能な水都の検討
(スマート水都の社会実験など)